ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
会社案内

変革を推進する

novo nordisk®

ノボ ノルディスクは、1923年創立のデンマークに本社を置く世界有数のヘルスケア企業です。
私たちのパーパスは、糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服することです。
その目的達成に向け、科学的革新を見出し、医薬品へのアクセスを拡大するとともに、病気の予防ならびに最終的には根治を目指して取り組んでいます。
ノボ ノルディスクは現在、80カ国に約5万5,000人の社員を擁し、製品は約170カ国で販売されています。

目次

社長メッセージ …… 03
ノボ ノルディスクの歴史 …… 04
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社について …… 05
ノボ ノルディスクの価値観 …… 06
サステナブルビジネスアプローチの経営原則 …… 07
慢性疾患の変革の推進 …… 08
社会への取り組み …… 10
環境への取り組み …… 13
働く環境への取り組み …… 14
社員紹介 …… 15

一目で見るノボ ノルディスク

糖尿病、肥満症、希少血液疾患および希少内分泌疾患の分野で働く

本　　社：デンマーク
関連会社：80カ国に関連会社があります*。

製　　品：約170カ国でノボ ノルディスクの製品を販売しています*。

患　　者：世界で3,600万人以上の患者さんが、ノボ ノルディスクの糖尿病ケア製品を使用しています*。
世界で使用されるインスリン製剤の約半分はノボ ノルディスクの製品です*。

R & D：中国、デンマーク、インド、米国、英国に10カ所の研究開発センターがあります*。

従 業 員：世界で約5万5,000人を雇用しています*。
日本では約1,000人が働いています。

生産拠点：世界9カ国（アルジェリア、ブラジル、中国、デンマーク、フランス、日本、ロシア、英国、米国）16カ所に生産拠点があり*、国内唯一の生産拠点は、郡山工場（福島県郡山市）です。

* novonordisk.com, Accessed August 2023

「糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服する」というパーパスのもと、社会に付加価値を与える持続可能な企業を目指しています

ノボ ノルディスクは、1923年にデンマークで設立されたグローバルヘルスケア企業です。「糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服する」というパーパスのもと、創業より100年にわたり、糖尿病、肥満症、希少血液疾患、希少内分泌疾患とともに生きる方々の健康の改善を目指し、イノベーションや協業を推進してきました。

昨今は、糖尿病治療で築いてきた伝統を礎に、新たな疾患領域における研究開発を加速しています。また、医薬品の提供にとどまらない疾患の予防、治療へのアクセスの改善、環境への取り組みといった分野に変革をもたらすプログラムやパートナーシップを展開し、社会に付加価値を与える持続可能な企業を目指しています。

ノボ ノルディスクは、患者さんや社会にとっての利益を念頭に置き、「社会に対する責任」、「環境に対する責任」、「財務・経済に対する責任」の3つの責任を常に考慮し、長期的な視点でビジネスを行うサステナブルビジネスアプローチに則って事業運営を行っています。
これは、私たちの会社の定款で定められた経営原則であり、世界中の従業員が共有する価値観であるノボ ノルディスク ウェイの中に明文化されています。

ノボ ノルディスクの日本法人であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立され、東京本社をはじめ、全国54カ所に営業拠点と、福島県に国内製造拠点である郡山工場があります。1,000名以上の社員が、既存ビジネスの成長の加速、より多くの患者さんと社会課題の解決に貢献すること、新疾患領域での成功の基盤を構築することを目指し、また、日々製品をお届けする患者さんに対して大きな責任を持ち活動しています。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 代表取締役社長
キャスパー ブッカ マイルヴァン

ノボ ノルディスクは糖尿病をはじめとする慢性疾患の変革を推進しながら100年の歴史を歩んでいます

ノボ ノルディスクのイノベーションの歴史

グローバルの歴史

1921 **インスリンの発見**
2名のカナダ人研究者が膵臓ホルモンの一種であるインスリンを発見

1922 **北欧におけるインスリンの製造許可を取得**
ノボ ノルディスクの創立者の一人であるアウグスト クロウが、インスリンを北欧で製造・販売する許可を取得
同じく創立者の一人であるハンス クリスチャン ハーゲドンとともにインスリン製造を開始

1923 **北欧初のインスリン製剤を発売**
死を待つしかなかった1型糖尿病の治療方法を変革
ノルディスク インスリン研究所の創設

1925 **初のインスリン注入器を発売**
患者さんが安心して自分で正しい量のインスリンを注射できるように設計

1946 **世界初の結晶性プロタミンインスリンを開発**
動物インスリンの作用時間の延長による、注射回数の削減を実現

日本の歴史

1950

1955 **ノボ社のインスリン製剤が国内で流通開始**

1975 **高度精製（モノコンポーネント、MC）インスリンの発売**
製品の純度を高め、注射部位に頻発したアレルギー反応の軽減に貢献

1976 **ノルディスク社のインスリン製剤が国内で流通開始**

1977 **下垂体抽出ヒト成長ホルモン製剤の発売**

1980 **ノボ薬品株式会社設立**

1984 **日本ノルディスク株式会社設立、ノボ薬品厚木工場稼働**
国内におけるインスリン製剤の安定供給を確保

1985 **半合成ヒトインスリン製剤を発売**
動物インスリンのアミノ酸配列を置換し、ヒト型のインスリン製剤を開発

1988 **インスリンペン型注入器を発売**
インスリンカートリッジを装着しワンプッシュ2単位の自己注射が目立たず
簡便に実施できるように

1990 **ノボ ノルディスク ファーマ株式会社発足（ノボ薬品と日本ノルディスクが統合）**

1992 **ヒトインスリン（遺伝子組換え）製剤を発売**

1994 **インスリンプレフィルド製剤を発売**
インスリンカートリッジと使い捨ての注入器があらかじめセットになった製剤で、
インスリンの自己注射はさらに簡便に

1998 **郡山工場本格稼働**
ノボ ノルディスクの生産供給部門を代表する21世紀のモデル工場として稼働開始

2000

2000 **遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤を発売**
リキッドタイプのヒト成長ホルモン製剤と専用のペン型注入器の発売

2001 **超速効型インスリンアナログ製剤を発売**
食後のインスリン追加分泌をより忠実に再現し、食前注射が可能に
患者さんのニーズに応えたインスリンプレフィルド製剤を発売

2004 **ヒト成長ホルモンのペン型プレフィルド製剤を発売**

2007 **持効型溶解インスリンアナログ製剤を発売**

2010 **ヒトGLP-1アナログ製剤を発売**

2014 **遺伝子組換え血液凝固第Ⅷ因子製剤を発売**

2015 **配合溶解インスリン製剤を発売**
1本のペンに持効型溶解インスリンと超速効型インスリンを配合
遺伝子組換え血液凝固第Ⅷ因子製剤を発売

2018 **ペグ化遺伝子組換え型血液凝固第Ⅸ因子製剤を発売**

2019 **基礎インスリンとGLP-1受容体作動薬の配合剤を発売**

2021 **経口GLP-1受容体作動薬を発売**

2022 **投与データの無線転送機能を搭載したスマートインスリンペンを発売**

2022

日本法人であるノボ ノルディスク ファーマ株式会社は1980年に設立されました

患者さん、医療機関の方々に、いつでも安心して使っていただける製品をお届けすることが、私たちの使命であると考えています。

ノボ ノルディスクのインスリン製剤は1950年代より国内に流通しており、糖尿病とともに生きる人々の治療改善に長らく貢献してきました。現在では約1,000人の社員が働いています。日本法人は、前身であるノボ薬品株式会社が1980年に設立されたことからスタートし、1990年にノボ薬品と日本ノルディスク株式会社が統合し、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社が発足しました。

会社概要

社　　名：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

設　　立：1980年6月20日

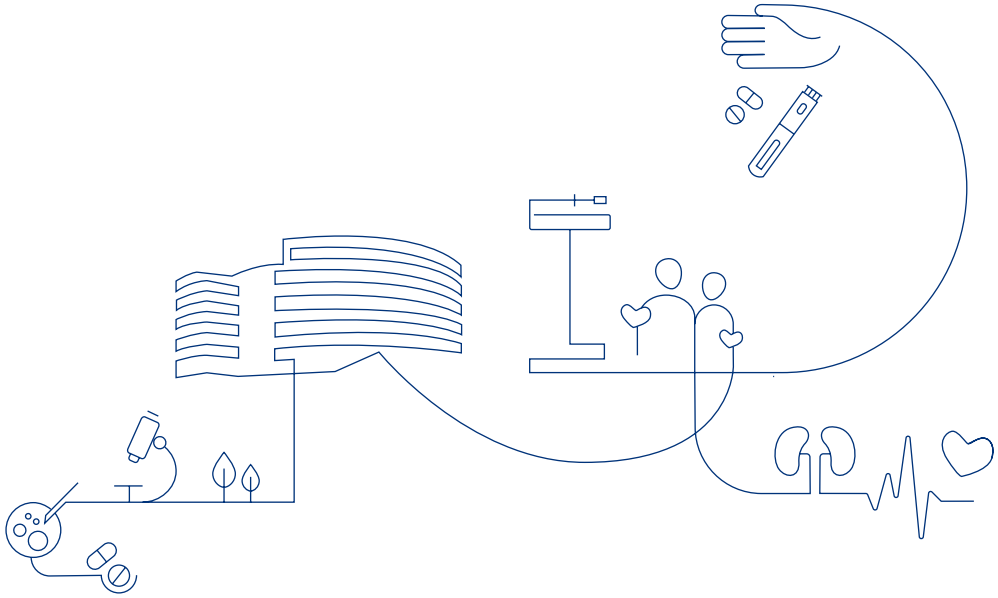
資 本 金：21億405万円

代 表 者：代表取締役社長　キャスパー ブッカ マイルヴァン

株　　主：ノボ ノルディスク・リージョン・ジャパン&コリアA/S

事業内容：医療用医薬品、医療機器の開発、輸入・製造、販売

事業領域：糖尿病領域、および希少血液疾患や希少内分泌疾患の治療薬を含む希少疾患領域



郡山工場（福島県郡山市）

ノボ ノルディスク ファーマは、1984年に神奈川県厚木市の工場で生産を開始し、その後、市場の拡大に伴い、1998年1月に福島県郡山市に工場を移転しました。郡山工場は、国内唯一の生産工場として、国内で流通する全ての当社製品について、高い品質を確保しつつ安定供給できるよう、最新鋭の技術と設備を駆使し、製品の受け入れから出荷までコンピューターで一元管理した生産を行っています。

The Novo Nordisk Way

ノボ ノルディスク ウェイは、私たちのあらゆる活動の指針となる価値観（バリュー）と行動様式（ビヘイビアズ）を示したものです。これは、1923年に糖尿病を克服するという野心的な取り組みを開始した創業者の理念とビジョンに根ざしています。

ノボ ノルディスクでは現在、世界中の何万人もの社員が同じ情熱とスキルを持ち、糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服するというパーパスへのコミットメントを実践しています。

何億人もの人々が慢性疾患とともに生き、世界で最も喫緊の健康課題となっています。これらの疾患は生命を脅かす合併症を引き起こすこともあり、個人、家族、社会への負担が増加しています。

ノボ ノルディスクは私たちのパーパスを実現するため、核となる能力（コア ケイパビリティ）を活用して、革新的な医薬品の発見と開発を行っています。私たちは、世界中の患者さんにこれらの医薬品を提供することで、当社が事業を手がける全ての疾患領域をリードし、最終的にはそれらの疾患の予防ならびに根治を目指しています。

ノボ ノルディスクは、持続可能なビジネスを推進することで、社会に価値を提供することを目指しています。難しい選択を迫られたとき、私たちは長期的な視点で考え、財務・経済、環境、社会的な責任を果たすことが将来につながることを理解しています。

オープンである、説明責任を果たす、人々を尊重するという当社の重要な価値観が、より健康な世界を実現するための変化を促す活動を支えています。これらの価値観を実践するために、ノボ ノルディスクの社員一人ひとりの意思決定と行動の指針となるのが、10項目のエッセンシャルズです。

エッセンシャルズ

Essentials

1. 私たちは、患者さんを中心としたビジネスアプローチをとることによって価値を創造します。
2. 私たちは、意欲的な目標を設定し、それを達成するためにエンパワーされています。
3. 私たちは、財務・経済、環境、社会面における業績に対して責任を持ちます。
4. 私たちは、好奇心を持ち、患者さんと社会全体の利益となるイノベーションを創出します。
5. 私たちは、ステークホルダーと良好な関係を構築し、維持します。
6. 私たちは、多様性を尊重し、全ての人に敬意を持って接します。
7. 私たちは、業績と一人ひとりの能力開発を重視します。
8. 私たちは、健全で魅力的な職場環境を整えます。
9. 私たちは、あらゆる行動においてアジリティとシンプリシティを追求します。
10. 私たちは、クオリティと倫理について決して妥協しません。

サステナブルビジネスアプローチの経営原則に沿い バランスのとれた意思決定をしています

ノボ ノルディスクは、社会、環境、財務・経済に対して責任を果たしていくことが、長期的にビジネスを成功させる基盤であると考えています。

ノボ ノルディスクでは患者さんを中心に、社会、環境、財務・経済の3つの側面で責任を果たし、短期的な売り上げと長期的な利益のバランスをとった意思決定を行うことを経営の原則として定款に明記しています。

サステナブルビジネスアプローチでは、私たちのパーパスである「変革を推進し、深刻な慢性疾患を克服する」をトライアングルの中心に据え、私たちが日々製品をお届けする何百万人もの患者さんに対して担う責任を示しています。このパーパスにより導かれた事業活動を行い、社会に付加価値を提供し、持続可能な企業であることを目指しています。

Sustainable business

慢性疾患の変革を推進する

ノボ ノルディスクの事業は「糖尿病で培った知識や経験を基に、変革を推進し深刻な慢性疾患を克服する」という明確なパーパスを中心に構築されています。

ノボ ノルディスクの重要な貢献は、革新的な治療薬を創出し、世界中の患者さんに届けることです。

糖尿病

糖尿病はノボ ノルディスクの手がける主力の疾患領域で、自己注射で使用するインスリン製剤やGLP-1*1アナログ製剤を取り扱っています。インスリン製剤では、食事の直前に投与する超速効型インスリン製剤や、1日1回投与する持効型溶解インスリン製剤、超速効型と持効型溶解インスリンを配合した配合溶解インスリン製剤、そして持効型溶解インスリンとGLP-1アナログを配合した製剤など幅広い製品を取りそろえています。さらに、投与データの無線転送機能を搭載したインスリンペン型注入器であるスマートインスリンペンの発売も開始しています。
GLP-1は腸管から分泌されるホルモンで、世界で初めて、ヒトGLP-1アナログを糖尿病治療薬として応用しました。自己注射での治療においては、注射をできる限り簡便で正確に行えるように、革新的で耐久性の高いプレフィルド型注入器も豊富に展開しています。また、注射剤だけでなく、世界で初となる経口のGLP-1アナログ製剤も開発し、販売を開始しています。
また、1型糖尿病の根治を目指した幹細胞治療の研究にも取り組んでいます。このような幹細胞治療の技術は、将来的には他の深刻な慢性疾患治療へも拡大していく予定です。

ノボ ノルディスク研究所
デンマーク

*1 GLP-1（グルカゴン様ペプチド-1）は、食事に反応して分泌されるヒトの腸管ホルモン

希少内分泌疾患

ノボ ノルディスクは50年の歴史を持つ成長ホルモン療法のパイオニアです。ノボ ノルディスクは世界で初めてカートリッジに充填したリキッドタイプの成長ホルモン製剤を開発し、今では世界で最も多く使われています。2021年には成人成長ホルモン分泌不全症（重症に限る）を適応とする週1回投与の長時間作用型ヒト成長ホルモンアナログ製剤の販売を開始し、同製剤は2023年に骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不全性低身長症の追加適応承認を取得しています。これからも治療を必要とする患者さんの生活改善にイノベーションで貢献します。

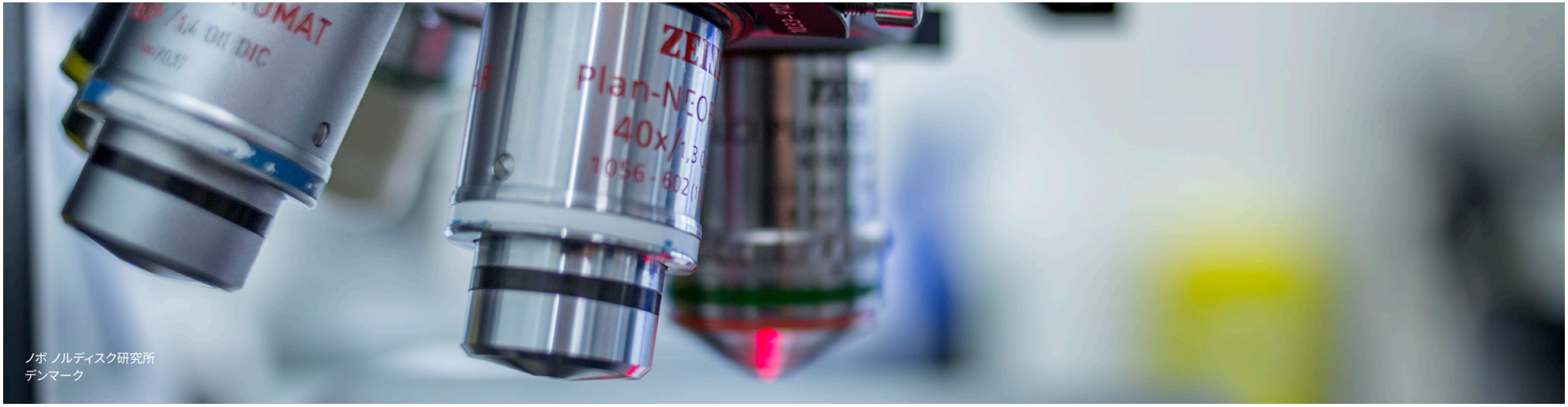
希少血液疾患

ノボ ノルディスクは、血友病や血液凝固異常症の止血治療におけるアンメットメディカルニーズに応えるため、遺伝子組換えタンパク質の開発・製造の知見を活用し、治療薬の研究・開発・提供を行っています。現在では、インヒビター保有または保有しない血友病Aまたは血友病Bの治療薬、そして非常に稀な疾患であるグランツマン血小板無力症、血液凝固第Ⅶ因子欠乏症、血液凝固第Ⅷ因子欠乏症の治療薬を提供しています。

肥満症

肥満症*2は、生理的、心理的、環境的、社会経済的、遺伝的要因を含むさまざまな要因に影響される進行性の深刻な慢性疾患です。肥満に起因ないし関連する健康障害を改善する、またはその発症リスクを減らすために、長期的な体重管理が必要とされています。
しかし、肥満症の治療薬の選択肢は限られており、アンメットメディカルニーズの大きな領域です。ノボ ノルディスクは、肥満症ケアにおける重大なアンメットメディカルニーズに応えるべく熱意を持って取り組んでいます。

*2 肥満症は、肥満（脂肪組織に脂肪が過剰に蓄積した状態で、BMI 25以上のもの）があり、肥満に起因ないし関連する健康障害を合併するか、その合併が予測され、医学的に減量を必要とする病態を「肥満症」の定義としています（日本肥満学会編：肥満症診療ガイドライン2022, ライフサイエンス出版, 2022）。



ノボ ノルディスク研究所
デンマーク

ノボ ノルディスクは、患者さんが糖尿病を克服し、より良い生活を送るためのさまざまな活動に取り組んでいます

糖尿病を克服することを目指し、ノボ ノルディスクは日々革新的な製剤の開発を続けています。そして、これまで多くの患者さんが抱える課題に応えてきました。しかし、製剤だけで糖尿病における全ての課題を解決できないことも事実です。真の意味で糖尿病を克服するために、ノボ ノルディスクでは、患者さんの心理的・社会的な課題も解決するためのさまざまな取り組みを行っています。

都市における糖尿病の増加に構造的に取り組む－Cities Changing Diabetes（都市に蔓延する糖尿病の克服）

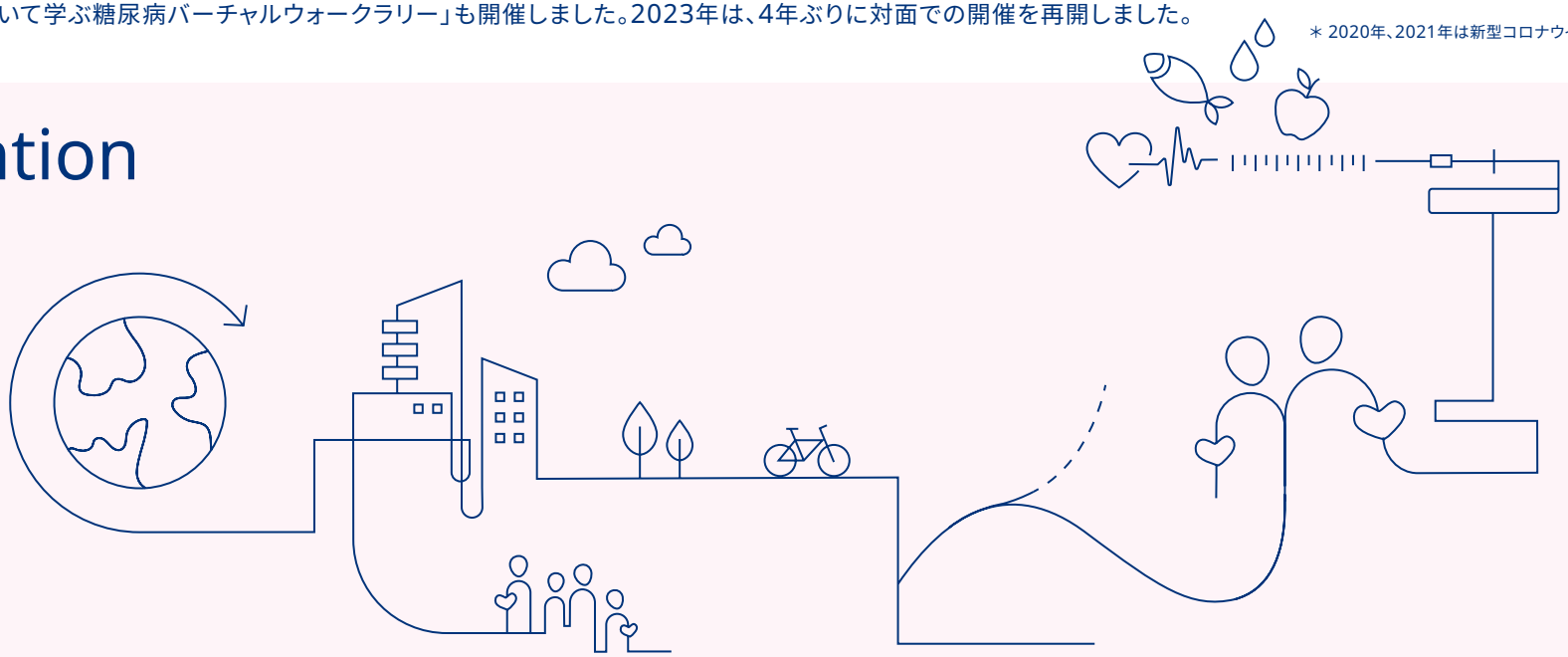
糖尿病とともに生きる人々の3人に2人が都市部に暮らしており、都市では糖尿病が蔓延しています。ノボ ノルディスクは、多様なパートナーと連携し、都市における糖尿病増加に取り組むため、「Cities Changing Diabetes」と呼ばれるプログラムを世界で立ち上げました。本プログラムでは、都市において糖尿病が増加している主な要因を理解し、知見を共有し、患者さんのケア向上のために行動していくことにより、都市に住む糖尿病とともに生きる人々の健康改善を目指しています。
日本においては、2018年から福島県郡山市および福島県立医科大学と日本初となる「Cities Changing Diabetes」プログラムを実施し、2021年6月からは千葉県旭市および千葉大学医学部附属病院と2回目となる「Cities Changing Diabetes」プログラムを実施しています。

糖尿病とともに生きる人々の学ぶ機会を提供する－歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー*

糖尿病とともに健康的に暮らすことの重要性について広めるため、ノボ ノルディスクは公益社団法人日本糖尿病協会と1992年から「歩いて学ぶ糖尿病ウォークラリー」を共催しています。全国で開催されている本イベントは、糖尿病とともに生きる人々が友人や家族とともに糖尿病に関する講演やゲームなどを通じて、良好な血糖管理のために必要な知識や、糖尿病治療に欠かせない運動療法について楽しく学ぶ機会を提供しています。2022年は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行による影響で、対面形式でのイベント開催が難しい状況を踏まえ、ウォーキングアプリ「そとでる」をローンチしました。このアプリでは、ウォーキングの距離や時間などを記録することができます。また、このアプリを活用し、運動療法について楽しく学ぶイベントとして、「歩いて学ぶ糖尿病バーチャルウォークラリー」も開催しました。2023年は、4年ぶりに対面での開催を再開しました。

＊ 2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

Prevention



ノボ ノルディスクは糖尿病とともに生きる人たちが、もっと自分らしく、ずっと笑顔で暮らせるように支え続けます

糖尿病とともに生きる人々へ勇気を与え応援する－チーム ノボ ノルディスク

チーム ノボ ノルディスクは、世界初の全員が糖尿病とともに生きるプロサイクリストで構成された世界で活躍するサイクリングチームです。チーム ノボ ノルディスクの共同設立者 兼 CEOのフィル サザーランド氏とノボ ノルディスクが、糖尿病とともに生きる世界中の人々を元気づけ、治療に積極的に取り組み、それぞれの人生の目標に向けて生きていくことを応援するという共通のビジョンに基づき、2012年、チーム ノボ ノルディスクを設立しました。
選手自らがお手本となり、世界トップクラスのレースに挑戦し「糖尿病を抱えていてもできること」を示すことによって、糖尿病とともに生きる人々を励まし、夢を追い続けていくための希望を与えています。

1型糖尿病の子供たちが病気とともに生きる力をつける手助けをする－思い出のサマーキャンプスケッチコンクール

絵を描くことを通じて観察力を鍛え、自分自身の身体を把握する力を高め、血糖管理に生かしてほしいという願いを込め、2001年より、「小児糖尿病サマーキャンプ」（主催：公益社団法人日本糖尿病協会）の参加者を対象に「思い出のサマーキャンプスケッチコンクール」を実施しています。2020年からはスケッチに加えて、作文も募集しています。

ノボ ノルディスクでは、糖尿病とともに生きる人々やそのご家族に、糖尿病に関する情報や、糖尿病とともに前向きに過ごしてもらうための役立つ情報を提供するWebサイトである「糖尿病サイト」を運営しています。

詳しくはこちらから

糖尿病サイト

チーム ノボ ノルディスク：世界初の全員が糖尿病とともに生きるプロサイクリングチーム

希少疾患領域では治療薬の提供を超えた取り組みを行っています

希少疾患領域では現在、血友病や血液凝固異常症、成長障害のための治療薬を主に取り扱っています。これらの疾患の患者数は糖尿病ほど多くないものの、診断と治療を適切に行うことが、患者さんやご家族のQOL改善に重要です。ノボ ノルディスクは「患者さんのQOLを向上させる」というゴールに向かって、さまざまな方向から全力で取り組んでいます。

血友病に対する取り組み－血友病と生きる人々のより良い明日を築くために

ノボ ノルディスクは、Changing Haemophilia®（血友病と生きる人々のより良い明日を築くために）のコンセプトのもと、製品の研究・開発や供給を行うとともに、血友病や血液凝固異常症とともに生きる人々の治療と人生に貢献するためのさまざまな取り組みを行っています。血友病は途上国では診断率や治療への認識が低い疾患であり、多くの患者さんが今も診断や十分な治療を受けることができていない状況です。2005年に設立したノボ ノルディスク血友病財団（NNHF）では、途上国における血友病の疾患啓発、医療従事者の能力開発、血友病患者さんの診断と登録を3つの柱としたプログラムを展開し、血友病治療の向上に努めています。日本では、血友病患者さんのための運動イベントや啓発活動を4月17日の「世界血友病デー」に合わせて開催したり、患者さんとご家族向けのWebサイト「クラブヘモフィリア」（www.clubhaemophilia.jp）で、血友病と生きる方々のためのさまざまな情報を提供しています。

成長障害に対する取り組み－成長ホルモン治療に関わる全ての人の幸せのために

子供の身長には個人差があり、成長過程において身長差が生まれるのは当然です。ただ、低身長の子供のなかには、医学的な原因が隠れているケースがあることもわかっています。
ノボ ノルディスクは、こうした子供の低身長症の早期診断、早期治療を目的とした啓発活動を行っています。
全国各地で小児科医師や医療従事者に対して、子供の成長や成長障害を起こしうる疾患に関する情報提供を行い、早期診断・早期治療の重要性について訴求しています。
また、疾患啓発と成長曲線の普及促進を目的とした「わが子の身長 はかろう！ つけよう！」キャンペーンを2011年から実施しています。子供の低身長について分かりやすく解説したパンフレットや身長測定ポスターを無料で配布しています。
また、2017年からは、お子様の身長と体重を簡単に入力し、成長曲線に記録ができるスマートフォン向けアプリ「すくすく成長曲線」を無料で提供しており、2020年には成長障害・低身長のお子様のための相談室「nordicare.jp」をリニューアルしました。

ウィリアム クリーマンさんは、デンマークで血友病Bとともに生きています。

ジョセフ ギャニオンさんは、カナダで成長障害とともに生きています。

ノボ ノルディスクは、環境への影響ゼロの実現を目指しています

circular FOR zero
－循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する－

「Circular for Zero－循環型ビジネスで環境負荷ゼロを実現する－」

という環境戦略を打ち立て、リサイクルや再利用可能な製品設計、ビジネスの手順を見直すことによる消費の最小化と廃棄物の削減、そして志を同じくするサプライヤーとの協働に取り組んでいます。

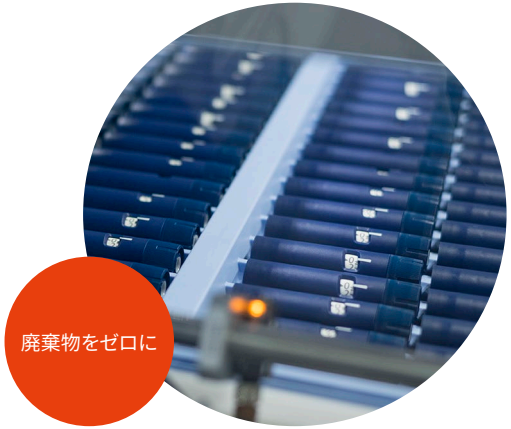
ノボ ノルディスクは2015年に「RE100*」に加盟し、2020年に全世界の自社生産設備で使用する電力の100%再生可能エネルギーを達成しました。「RE100」加盟企業の中では、この目標を達成した最初の製薬企業です。持続可能なビジネスの実現のため、2045年までにCO_2排出量を実質ゼロ（ネットゼロ）にするという目標を掲げています。中間目標としては、2030年までに全ての事業活動および輸送にかかるCO_2排出ゼロを目指しています。2022年には、事業活動および輸送によるCO_2排出量を、2019年から29%削減しています。

国内では郡山工場が、2016年に電力の再生可能エネルギー化100%、2018年に工場におけるCO_2排出量ゼロを実現しています。2020年7月には、工場の敷地内に太陽光発電設備を導入し、発電した電力を自家消費することで環境負荷低減を図っています。また、2021年2月には、日本における環境戦略を発表しました。

＊ RE100：事業活動を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際イニシアチブ

循環型供給

循環型企業



循環型製品

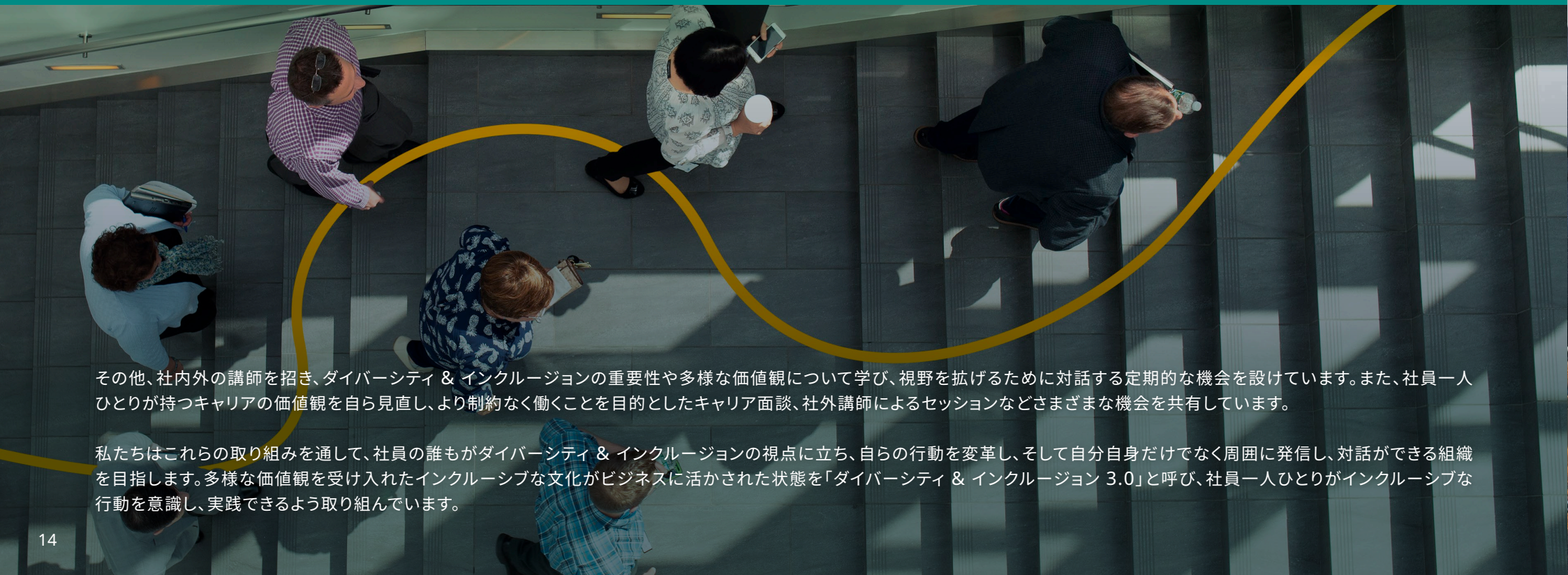
環境戦略の一環として、デンマーク本社では、医療機器の使用後の課題にも取り組んでいます。その試験的な取り組みとして、2020年12月より、デンマークの3都市において、使用済み製剤の回収を実施しました。回収された使用済みのペン型注入器を素材ごとに分解・リサイクルし、照明器具、オフィス家具、花瓶などの原料として再利用することに成功しました。現在では、デンマーク全国へこの取り組みを広げているほか、英国やブラジルなどでも同様のプログラムをパイロットとして展開し始めています。

リサイクルされたノボ ノルディスクの
インスリンペン型注入器でできた照明器具、椅子

ノボ ノルディスク ファーマが目指す「ダイバーシティ＆インクルージョン3.0」

私たちはあらゆる多様性が受け入れられる職場環境を実現し、ノボ ノルディスク ウェイが定義するオープンで正直な文化の醸成を目指します。これにより、社員一人ひとりが自分自身の能力を発揮できるフィールドを生み出すと信じています。

持続可能な報酬	毎年1回社員の報酬が平等であるか、持続可能であるか、全社員の報酬を確認しています。
採用面接官の多様性	多様な人材をバイアスなく採用するため、採用面接を担う社員のダイバーシティを可能な限り確保しています。
従業員サーベイ	1年に1回の従業員エンゲージメントサーベイではインクルージョンインデックスを導入し、ダイバーシティ & インクルージョンの可視化を可能にしています。
業務と育児の両立支援	社員のキャリアと育児の両立を支援する制度として、産前産後休暇や育児休業に加えてベビーシッター派遣事業を活用できます。



その他、社内外の講師を招き、ダイバーシティ & インクルージョンの重要性や多様な価値観について学び、視野を拡げるために対話する定期的な機会を設けています。また、社員一人ひとりが持つキャリアの価値観を自ら見直し、より制約なく働くことを目的としたキャリア面談、社外講師によるセッションなどさまざまな機会を共有しています。

私たちはこれらの取り組みを通して、社員の誰もがダイバーシティ & インクルージョンの視点に立ち、自らの行動を変革し、そして自分自身だけでなく周囲に発信し、対話ができる組織を目指します。多様な価値観を受け入れたインクルーシブな文化がビジネスに活かされた状態を「ダイバーシティ & インクルージョン 3.0」と呼び、社員一人ひとりがインクルーシブな行動を意識し、実践できるよう取り組んでいます。

自らキャリアを切り開く社員の紹介

後輩の成長とともに感じる自分の成長、これが自分自身のキャリアを築く鍵になる

2016年に大学卒業後ノボ ノルディスクに入社し、現在は東京近郊の大学病院、基幹病院を中心に、希少疾患である血友病の患者さんが使う製品を担当する営業として働いています。入社して5年後の2020年、新卒で入社した後輩の教育係を担いました。初めての新入社員の教育係をコロナ禍で経験し、当初は手探り状態だったことを覚えています。しかし新入社員の成長とともに自分自身の成長を実感し、お互いの成長の喜びや仕事の楽しさを改めて発見する機会になりました。
教えることでともに成長する――私が自分自身のキャリアを築いていく上でのターニングポイントを迎えたような気がしています。
ノボ ノルディスクの価値観である「患者さん中心のビジネスアプローチ」を忘れずに、これからも多くの医療従事者の皆さんと患者さんの治療について前向きに話し合える、ノボ ノルディスク ウェイを体現する社員になることが私の目標であり、自分自身で築くキャリアの柱になると信じています。

S.I.
2016年に新卒で入社後、千葉県と東京都の一部でヘモフィリア（血友病）領域を担当する営業職として配属。
現在は東京都内の大学病院、基幹病院を担当。

現在臨床開発部門にて数多くの治験に関わっています。ノボ ノルディスクには糖尿病だけでなく、多くの疾患領域において新薬の候補となる豊富なパイプラインがあります。今後も色々な疾患領域の新薬開発に携わり、将来は自ら治験をマネジメントし、成功させ、新薬を市場に送り出すことを目標にしています。

D.S.
2017年に新卒で臨床開発部門に入社。
多くの国際共同治験の遂行に従事。

マネジャーになったのは私にとってのキャリアのゴールではありませんでした。まずは自分自身やチームメンバーのキャリアに真剣に向き合えるリーダーになること。そして一人ひとりの社員が自身のキャリアを築くことで継続した成長ができる強いチームとなり、ノボ ノルディスクの製品を世界中のさまざまな患者さんに届ける、それが私と私のチームの目標です。

S.K.
九州の一部地域を管轄するセールスマネジャー、2021年より現職。2016年に中途入社、2021年7月に現職に着任。

life-changing careers

ここには、人生を変える仕事がある。

初めての教育係を担った後輩の成長とともに感じたのは自分の成長であり、それに気付いたときが私のキャリアを築く上でのターニングポイントでした。自らのキャリアは会社から与えられるのではなく、自分で選択し、切り開き、築き上げるものです。
私がプロフェッショナルであることは「患者さん中心のビジネスアプローチ」を通して医療に貢献できる機会をより多く創出することにつながると実感しています。

（2016年新卒入社。現在は東京近郊を担当する営業職）

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
〒100-0005
東京都千代田区丸の内2-1-1
明治安田生命ビル
TEL.（03）6266-1000（代表）
FAX.（03）6266-1800
www.novonordisk.co.jp

https://twitter.com/NovoNordiskJP

https://www.youtube.com/@user-pz8ij4er7x

JP23NNG00030（2023年8月作成）